令和７年７月２２日

各都道府県ソフトボール協会　各位

　同上　　　出場チーム　　各位

茨城県ソフトボール協会

会　長　　　和田　照男

　　　　　競技委員長　高橋　義道

第22回全日本一般男子ソフトボール大会

競技運営について（お知らせとお願い）

　標記大会について、日本ソフトボール協会より「ソフトボールにおける熱中症予防対策ガイドライン」のお知らせがありました。開催にあたり茨城県ソフトボール協会として、下記のとおり熱中症対策を講じて大会運営を行ってまいります。

　つきましては、選手の健康管理は勿論、参加者全員の健康安全を最優先に考え、本大会が無事終了できますよう皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

**１　WBGT(暑さ指数**)　　**33～**（熱中症警戒アラート）　　**35～**（熱中症特別警戒アラート）

　　**＊気象庁より試合前日～当日に発出された場合、原則中止、延期、時間変更がありますことご承知おき**

**下さい。**

**２**　**指数31以上の場合**、原則中止であるが主管団体として予防対策を十分に講じるとともに、出場チーム（応援者含む）にも予防対策の周知徹底を図り実施いたします。なお、試合途中に**指数が３５以上**になった場合は、試合の中断、延期、中止等を検討。各会場責任者が主催者（大会委員長）に報告・相談し決定いたします。

**３**　**主管協会としての具体的な暑熱対策**

　・試合は、原則2回、４回、６回終了時に給水タイムの設定。（監督会議でも確認）

・各イニングで守備時間が２０分（打者１巡目やす）以上で給水タイムと身体冷却タイムの設定。

・前もって開催地の消防機関に大会の詳細を説明し、救急搬送の協力を依頼する。

・会場ごとに氷（身体冷却用）・ＯＳ1、アイスラリー（凍らせて飲むのが効果的）の準備

・クーラー付きの医務室準備（クーラーがない会場は、扇風機の準備）

・可能な限り看護師の配置と早期発見

**４**　**参加チームに協力依頼**

・大会日に体調が万全となるよう、数日前から過ごし方（寝不足等、体調不良となる行動は控える。）を自

己管理するとともに日頃から暑熱順化に努めていただく。

・十分な量の飲料水、スポーツドリンク等の飲料（アイスラリーが効果的）、冷却用の氷を持参すること。暑熱対策用グッズの準備をお願いする。簡易テント等の準備

令和7年7月２２日

出場チーム代表者　様

茨城県ソフトボール協会

会　長　和田　照男

理事長　高橋　義道

大会参加にあたってのお願い（協力依頼）

　標記について、下記の3点について協力をお願いいたします。

１　開会式参加にあたって、貴協会旗又はチーム旗をご持参ください。

　　＊参加者全員のスリッパ（上履き）を準備できませんので、各自でスリッパ（上履き）を

ご持参ください。

　　２　時節柄、大変暑い中での厳しい大会になるかと予想されます。熱中症対策として、十分な量の飲料水、スポーツドリンク等の飲料（凍らせて飲むアイスラリーが効果的）と身体冷却用の氷等をご準備下さい。なお、大会日に合わせて（大会2週間前程度）暑熱順化を高めることに努める。

　　　　＊できましたらチームとして簡易テント等の準備（休息時の対応）

　　３　万全な体調で参加できるよう、参加者一人ひとりに十分なる体調管理をお願いいたします。

　　４　熱中症の重症化防止には早期発見と予防が大切です。（参考資料）

　　　　図のフローに従って処置・対応をする。